

戰時保育の本義と實際

— 昭和十八年八月戰時保育講習會講義筆記 —

倉 橋 惣 三

目 次

- 一 戰時保育の意義
- 二 戰時保育の重要性
- 三 戰時保育の問題
 - (一) 保育の目的方面に就て
 - (二) 保育の方法方面に就て
 - (三) 保育の内容方面に就て
- 四 戰爭それ自身の取入れ
- 五 戰時下生活の取入れ

第二日—八月二日(上)

引續き御勉強であります、お互がかうして講習して居ります間に、實に世界は非常な變化を刻々にしてゐるのであります。實に容易ならざる事でありませぬ。幼稚園の講習がかゝる世界の大變動を、しかもそれが日本に一々關係してゐる重大事件を背景として開かれたことはこれまでなか

つた事であります。此の講習の始まる前に伊太利の大變動があり、前日は全く違つた伊太利になつた。その最中に皆さんはお集りになつたわけであります。途中にムッソリーニを見舞つて來たさいふ人もあるかもしれない。(笑)伊太利の變動については濫に臆測を許されないことでありませぬ、何れにしても樞軸の一角に於て然もその一角を代表する巨頭が急にかうなつたさいふ事實は容易のことではありません。

またこの集りの第一日に新しい獨立國が出來ました。一國の獨立といふ事は容易ならざる事でありませぬ。殊にその國は獨立即宣戰布告をなし、獨立と同時に命がけの戦にまびこんだのであります。かういふ事は歴史上で聞く事はあつても、昔話のやうで實感が出なかつたが、今日は我々の眼前に實に生々しくそれを痛感するのであります。更に中華民國に對する日本の大きな德義觀としてあの租界—獨立國でありながら外國に部分的に支配されてゐた租界の取返

し、裁判權の取返しが、日本の力によつて與へられましたこと、これ亦容易ならざる出來事であります。我々は大東亞共榮圈の理想を詩の言葉のやうに聞いてゐてはならぬ。大東亞共榮圈といふものはその中の單位がしつかりしなければ出來ません。この手はじめがビルマの獨立に第一の實現を見、中華民國に實質的獨立性の賦加されたことでありませぬ。ビルマといへば、今正に獨立せんまし、日本も亦それを援けやうとして、尙且、敵米英に今尙最も密接な關係を持つてゐる印度に隣接してゐるまゝころであります。從つて之に對するビルマ獨立の意義は誠に深いのであります。又、考へるに、共榮圈内の國が獨立し、獨自の裁判權、軍事權を持つまゝいふ事は、日本の軍隊による行政が撤廢せられたことであります。この事は、共榮圈の單位がしつかりするまゝいふ喜びの他に、共榮圈内に味方として頼もしい強い相手がふえる事になるのであります。種々私共に考へさせるのであります。共榮圈内の一國一國を強き獨立國にする程のこゝを敢へて日本はしてゐるのであります。皆さん既に御承知の時局の話をこゝで敢へてするのは、かうしてゐる間にもこの世界に大變動が行はれてゐる事を思ふからであります。更に我國にまつて南の戰は非常に熾烈であります。さられた地をまゝりもさうする敵の反抗勢力は増加してゐるのであります。或はこのお話の間におそ

らくソロモン群島のまゝで非常な戰が行はれてゐるに違ひないのであります。我々は幸にも戰の報せと同時に勝利の報せを聞くことが出來るのでありますが、戰つてゐる時には、勝つは決定してゐないのであります。かうやつてゐるまゝ戰は遙かなまゝころに行はれてゐるのであるが、時間的には今只今行はれてゐる事を忘れてはならないのであります。我々が我等の職域に於て戰爭目的に致致する保育をなし、重點を戰爭目的と同じまゝころにおいて、保育してゆくまゝいふ事は、理窟でなく我々の氣持に當然起るまゝころであります。この意味において、先日の講義の終りに、體力を重んじるにも、何の點を重んじるかを申しました。健康は平時は人間の裝飾である、美觀であります。今日は形そのものよりも體力であり、利那的でなくまゝでもちこたへてゆくかまゝいふ體力であります。又、性格は人間教育に何時も大切で且多方面な價値があり、却つて時に相殺するやうなものも強く優しくさへあります。今日は戰爭目的に必要な性格はこれか考へるのであります。今日、多少學問がなくまゝも、才能がなくまゝもかまひませぬ。道徳性がなくまゝもよいまゝまでは申しませぬが、道徳を理想の上で確立するまゝいふ静けさは今日まつてゐられないのであります。國民的性格さへもてば、他はこれに比して第二、第三となりませう。國民的性格さへもてば、頼もしいのであり

ます。お役に立つのであります。國民的性情は何か。これを二に分けました。一は内容的に國民精神が十分にある事でありませう。しかしそれ丈ではない、同時に又それらの事は殊によるに幼稚園に在る間において子供に與へられ得るのは極めて僅かな事かもしれませう。勿論幼児期においてその基礎を與へねばなりません、國民精神の完成は後のごきで、幼児期には國民精神の芽生え、苗にミミまるのであります。ところが國民的性情のもう一つ、國民は複數であるといふ事でありませう。個人は國民であるが、國民活動は複數で行はれるのであります。一人、一人がごれ程、國民的性情をもつてゐても、それが合はざり、一つにならなければ國民活動は出来ませう。平時ならばお互の間に國民的性情を以て交はればよい。戦時には國民的性情を擧げて他の國民全體にぶつかつてゐるのである。してみれば戦時下の國民活動は日本人が一つになつてゐるといふ事の他にない、國民的に協和一致出来るかどうかが問題であります。伊太利の問題を斷片的に聞いて、もきより外交的な深いごきなきは我々の知るごきではありませう、伊太利は國民的に完全に合體してはるなかつたといふ事だけを感じられるのであります。ファツシヨの大きな勢力、それを人格的に代表するムツソリーニに對しても、多くの反ファツシヨがあつた事を今にして我々は知るのであります。

四

す。そしてこのごきは伊太利自身はつきり、國民的統一がなかつたといつてゐるのであります。ごに角伊太利はごにかくシシリーに敵をあんなに上陸させた。しかも伊太利都市の多くが空爆されてゐるのであります。ごうして伊太利がこんなごきにされたのかを今更に感ずるのであります。その一は今にして始めて知る、伊太利國民は一人一人は國を愛し、強くもあつたらうが、國民的に一致してゐなかつたのであります。國民的に強くなるか否かは實にごにある。今日文化國においては個人の差は少いのであります、それが一つに集るか否かがその國の國力になるのであります。故に、愛國の精神で誰ごでも一にならずにゐられないやうな性格、厭だが一になるごいふ義務や社會道德ではない。一にならざるを得ない性格を養つておくごきが大切であります。

我々は何故國民でさへ一になれないかご考へるのであります、それは自己を中心にして種々考へる方面の發達がその原因でありませう。國民的性情の内容については幼稚園で爲し得るのはその基を礎くごきだけであります、ご共になれるごいふ性格の傾向は大きくなるご難しくなるのであります。幼稚園令に「善良ナル性情ヲ養ヒ」ごあります、それがそれは國民的團結ごいふ善良さご解釋出来るのであります。實際保育上、完全でない性格の子供は多くあり、殊

に家庭は我子を教育する最も大切な場所でありましたが、そして日本の子として育てるのに意義があるのでありますが、そこでは我子を我子として育てます。力点をこゝにおきます。それは家庭教育の良いところでありますが、幼稚園には我子とする強さはありません。

しかしそのかたより方もないのであります。幼稚園に於て人ミ一しよになる性格を養ふのであります。人ミ一しよになるミいつても單なる社會性ではなく、國民的性格の基本ミして考へられるところに幼稚園の組織機構に非常な意味をもつのであります。幼児期の間に社會性の完全なる様相は與へ得ませんけれども傍觀的、批判的態度をミつてゐるミいふ我々にありかちの性格を幼児期において根こそぎミらなければなりません。之こそ幼稚園が國民鍊成に役立つ立派なお役目であります。幼稚園に來た子供はおミなし、行儀がよいミいふのは第二義であります。少しは亂暴であり、粗野であつても人ミ共になるのを妨げる嫌な性格は持つてゐない。これが第一であります。

たゞこゝに考へるのは、皆ミ一になつて協同する事はこんな大きな力を出す、その事はそこに靜かな團體をつくる事であり、自分を控へる事になります。踏みミまゐるのも一致であります。しかし戦争は集つた力が動的に敵にぶつかなければならない。これを本體ミします。ぶ

つからんミ欲すれば自ら挺身しなければなりません。戦時には協和ミ挺身ミを伴はねばなりません。協和の中にある挺身が大切なのであります。挺身ミは全體の目的を一身に擔つてゆくゆき方であり、全體の目的を全體で分けあつて、誰がゆくかミ他を省みてゐるのでは戦争になりません。又先に立つてゆくにしても自分の手柄ミする爲にゆくのでは協和が崩れてしまひます。人ミ共に集るだけでなく、自分に得な事だけでなく全體が逡巡する損な事を挺身して行ふのであります。あの子供達の中にも集る事を得ミし、身を守る事のみ汲々して挺身を缺くミが多く、先に立つてするミは自分の我儘から出るミいふ事が多いのであります。編隊を組んで飛びながらしかも挺身體當りを行ふミいふ事は幼稚園では出來ませんが、幼稚園の子供を性格的に訓練するにはこれを頭において、この反對を削除するミに力をそゝがねばなりません。この事について、保育における性格教育を如何に解釋し、何處に重點をおくかの意義があるわけであり、體力のミころでも申しましたが、一人でも弱くてはならぬミ同様、性格においても一人でもひねくれであつてはなりません。今、話して居る事は保育について、戦時目的に合致してゐるや否やを嚴省してゐるのであります。